

## 第七天国 (1927)

SEVENTH HEAVEN

メディア 映画  
ジャンル ドラマ  
製作国 アメリカ  
色彩 B&W  
時間 119分  
初公開日 1927/11  
公開情報 劇場公開

## 【解説】

「アタラント号」が一方の究極にあるとすれば、これはもう一極に燦然と輝く愛の映画だ。片やメロを寄せつけぬ、此方はメロを大口開けて呑み込み込む幸福なロマンス。片や河を流れ、此方は天にも昇るアパルトマンの屋根裏部屋（この空間造型は凄い）が舞台。貧しい下水掃除人のチコはその7階の自室をユダヤ教の最上天に因んで、“第七天国”と呼んでいた。ある夕、仕事を終えたチコは姉に鞭打たれ倒れていた少女ディアンヌを救う。行く当てのない彼女を“第七天国”に連れて来た彼は、身元調査に来た警官に“妻だ”と偽りを言ううち、彼女に特別な感情を抱く。ディアンヌとて同じこと。初めて自分に幸福をもたらした青年は、しかし、折しも勃発した第一次大戦に召集される。彼らは二人きりの式を挙げ、約束をする。毎朝11時、心の中でこう呟く事を。“チコ、ディアンヌ……天国（ヘヴン）”。と、書くだに泣けてくる。メロドラマの巨匠ボーゼージが、可憐なゲイナーを天使の位まで高め、純愛の官能を謳いあげた名作だ。

## 【クレジット】

|    |  |  |
|----|--|--|
| 監督 | フランク・ボーゼージ   | Frank Borzage  |
| 製作 | ウィリアム・フォックス  | William Fox  |
| 原作 | オースティン・ストロング   | Austin Strong  |
| 脚本 | ベンジャミン・グレイザー   | Benjamin Glazer  |
| 撮影 | アーネスト・パーマー<br>J・A・ヴァレンタイン  | Ernest Palmer  |
| 音楽 | エルノ・ラペー  | Erno Rapee   |
| 出演 | ジャネット・ゲイナー<br>チャールズ・ファレル<br>ベン・バード<br>デヴィッド・バトラー<br>マリー・モスキニー<br>アルバート・グラン | Janet Gaynor<br>Charles Farrell<br>David Butler<br>Albert Gran |